

2008年6月30日
No.0805

現評

愛知県職員組合連合会
現業評議会

名古屋市中区三の丸2-3-2

愛知県自治センター

電話 052-951-4036

FAX 052-972-0649

URL: www.aichikenshoku.gr.jp

mail: gengyou08@aichikenshoku.gr.jp

- 第2回評議員会を開催
- 給与実態調査の結果について
- 総務省「現業給与研究会」立ち上げ



6月21日、第2回評議員会を開催

「現業職員の給与等の見直しに向けた取組方針」に 現評に団結して立ち向かおう

08年度の後半期の活動方針を決定
業務のあり方の検討、農林水産部関係の活動の強化など

現業評議会は、6月21日、アイリス愛知で第2回評議員会を開催し08年度後半期の方針を決定しました。国の現業職員の給与等の見直しが強まり現業職員を取りまく情勢は新しい段階に入ったと考えます。今後、本県での給与見直しや職場の確保などについて真剣な討議が行われました。

はじめに、県職連合の安藤副委員長からあいさつがありました。

あいさつでは、大阪府の財政再建プログラムについて、職員給与のカットにとどまらず退職金のカットまで提示されており、全国の公務員へ波及する恐れがあり組合として橋下知事へ抗議を行ったこと、前日の20日に大阪で行われた抗議集会へ代表派遣したことを報告。

また、県が3月31日に公表した「技能労務職員等の給与等の見直しに向けた取組方針」(以下、「取組方針」)に触れ、情勢がきびしい時こそ組合、現業評議会へ結集することが重要と強調しました。

続いて鬼頭副議長から、昨年の定期大会以降の活動について報告がありました。「取組方針」に対する取り組みや支部代表者会議の毎月開催、給与実態調査、現評ニュースの定期発行など前半期の経過について報告の後承認されました。

その後、笹山副議長が08年度後半期の活動方針(案)の提案を行いました。「取組方針」への対応について特に

速報

給与実態調査の途中集計まとめる

勤務評定のABもそれなりに

5月に行いました給与実態調査のご協力、ありがとうございました。

調査は、対象者227人中、206人から回答がありました。(回答率90.7%)

今回は、まだ途中集計ですが、結果の一部を速報としてお知らせします。

昇給号数について(表1)

普通昇給は4号昇給ですが、調査結果では1号以上の加算があり、5号、6号の昇給者もありました。

55才以上の職員は、昇給抑制のため普通昇給は2号ですが、同じように3号以上の昇給者もありました。

表1 昇給号数

昇給号数	人数	率
0号	35	15%
1号	3	1%
2号	29	13%
3号	14	6%
4号	82	36%
5号	28	12%
6号	4	2%
無回答	32	14%
合計	227	100%

表2 勤務評定

勤務評定	人数	率
AB	37	16%
C	156	69%
無回答	34	15%
合計	227	100%

表3 公務貢献

公務貢献	人数	率
あり	17	7%
なし	170	75%
無回答	40	18%
合計	227	100%

昇給が1号加算されるA・Bの人は16%ありました。これまで、昇任のない現業職員には勤評でA・Bの該当者は、ほとんどなかったと考えられます。

査定昇給の実施で現業職員にも公平にA・Bの評価がつけられるように、一部修正する場合があります。

◆◆ 当面の日程 ◆◆

- 7月5～6日 現業レク(箱根、伊豆)
- 7月12日(土) 10:30- 本部役員会議
- 13:30- 支部代表者会議
- 15:30- 農水部関係代表者会議
- 会場: アイリス愛知

報 告

6月21日 第2回評議員会

評議員会で決定された08年度後半期の活動方針（抜粋）は次のとおりです。

▼「技能労務職員等の給与等の見直しに向けた取組方針」にかかる取組

地域民間給与との比較による給与制度の適正化、民間委託化、非常勤化の新たな推進などが、今後「適正化」として様々な問題が提示されることが想定される。

「取組方針」に基づく見直しについて、現業評議会の総力をあげた取組が必要。

①総務省の「現業職員の給与等の見直し」指示の内容、ねらい、問題点等について学習、宣伝活動を引き続き強化します。

②賃金水準については、すでに給与構造改革により大幅に引き下げられており、若年層、中途採用者をはじめ賃金改善要求は切実なものがあります。



今年の土曜の五は17/24、しかも木曜日は

投稿をお待ちしています
掲載分には、薄謝を検討中。組合本部まで。

総務省は、「技能労務職員の給与に係る基本的考え方に関する研究会」（以下「研究会」という。）を設置し、第1回目を4月14日、第2

回を5月16日に開催しました。この研究会は、現業職員の「給与決定の基本的考え方」を整理し、民間の給与水準の「具体的な反映手法等について研究すること」を目的としています。

具体的な検討課題として、給料表の体系をどうしていくか、どんな調査で公民の給与水準を比較するか、労働組合との交渉をどう考えるかなどをあげています。

自治体として、現業職員の知識や経験の蓄積を生かし、良質で専門的、総合的な住民サービスを提供できるかど

うか、公務労働としてのあり方を検討します。

④各県の動向、全国の情勢の把握につとめ、全国的な取り組みにできる限り参加します。

▼査定昇給
給与実態調査の中で査定昇給の結果について、一般職員との間に格差があるなど問題点があれば、今後改善を求めていきます。

▼動物管理指導員の一般職化
従来の単純労務とはいえない業務内容に変化してきている実態を明らかにするため、動物管理指導員部会と共同して業務実態のまとめや他府県調査などを行い、引き続き交渉を行い、一般職化の実現をめざします。

▼農林水産関係のあり方
農林水産部に対して、今後の現業業務のあり方や現業職員の必要性を明確にさせることが重要であり、職場要求の部局交渉を重視して取り組みをすすめます。

▼組織強化
支部代表者会議の定期開催を重視し、全支部からの参加に努めます。

▼自治労現業組織集會
7月24、26日、岩手県花巻市で開催される自治労現業組織集會に本部役員を派遣します。

▼定期大会
12月13日（土）にアイリス愛知で開催します。

▼学習交流集會
組合員間の交流をはかるため、7月5、6日に伊豆箱根方面に1泊2日のレクを実施します。

▼現業交流レクリエーション
組合員間の交流をはかるため、7月5、6日に伊豆箱根方面に1泊2日のレクを実施します。

▼機関紙「現評」
現業職員への情報提供、要求課題の教宣のため、機関紙「現評」を継続的に発行します。

▼現業交流レクリエーション
組合員間の交流をはかるため、7月5、6日に伊豆箱根方面に1泊2日のレクを実施します。

▼機関紙「現評」
現業職員への情報提供、要求課題の教宣のため、機関紙「現評」を継続的に発行します。

▼現業交流レクリエーション
組合員間の交流をはかるため、7月5、6日に伊豆箱根方面に1泊2日のレクを実施します。

▼機関紙「現評」
現業職員への情報提供、要求課題の教宣のため、機関紙「現評」を継続的に発行します。

▼現業交流レクリエーション
組合員間の交流をはかるため、7月5、6日に伊豆箱根方面に1泊2日のレクを実施します。

▼機関紙「現評」
現業職員への情報提供、要求課題の教宣のため、機関紙「現評」を継続的に発行します。

▼現業交流レクリエーション
組合員間の交流をはかるため、7月5、6日に伊豆箱根方面に1泊2日のレクを実施します。

▼機関紙「現評」
現業職員への情報提供、要求課題の教宣のため、機関紙「現評」を継続的に発行します。

暮らしのメモ

台所の配水管の汚れも臭いの元。食器洗いの前に油汚れをふき取るなど、油分をできるだけ流さないようにしましょう。
汚れてきたら、重曹と酢水をゆっくり流して掃除します。